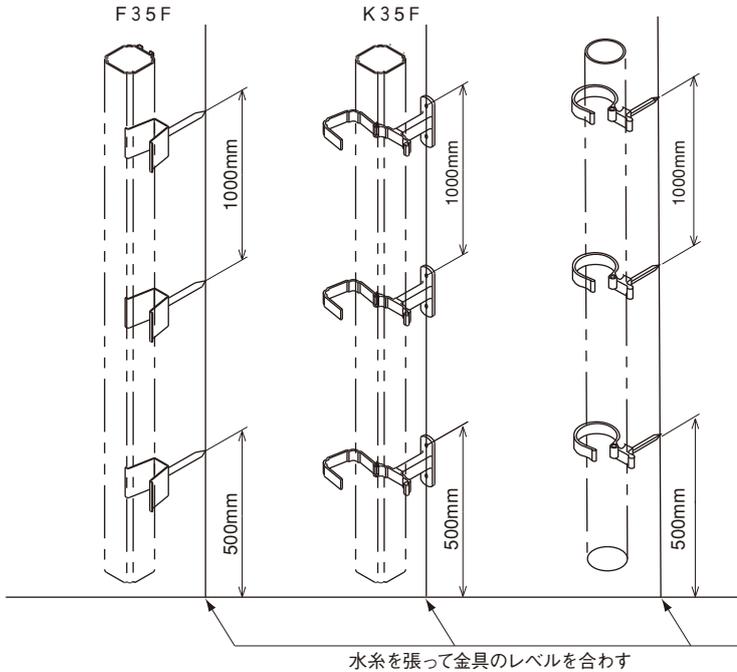


たてどい

たてどい金具（でんでん）の取り付け間隔

- たてどい金具（でんでん）間隔は、1000mmを基準としてください。
- 海岸からの距離1km以内、山頂、高台、崖の上など、局所的に風の強い場所や、3階建て以上の場合は、たてどい金具（でんでん）の取り付け間隔を800mmに狭めてください。



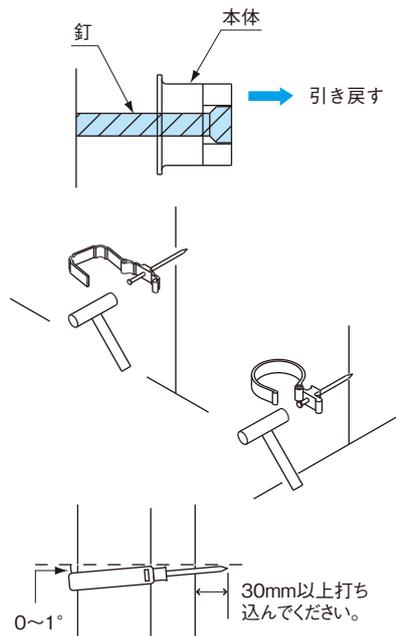
ご注意

F35Fでは強風でたてどいが外れる恐れがありますので、たてどいのフック部にしっかりとめ込んでください。

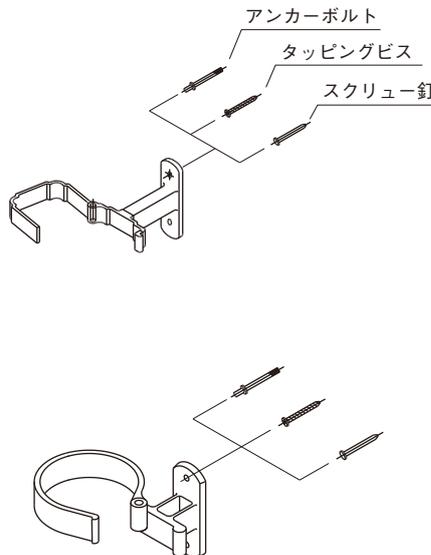
金具の固定方法

■打込みの場合

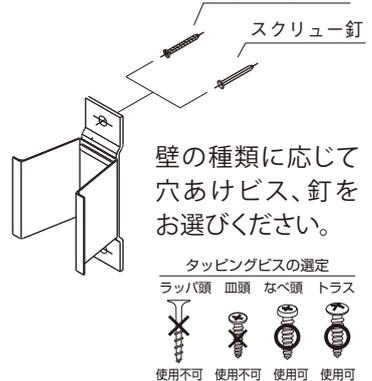
本体部分を釘の中心部まで下げ、釘を所定の深さまで押し込んだ後、再び本体部を引き戻してください。



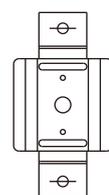
■T字式の場合



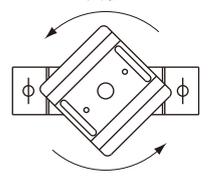
■F35Fの場合



通常の固定



回転



※下地材により金具を横向きで固定する場合は、取付部を回転させてたてどいを取り付けます。

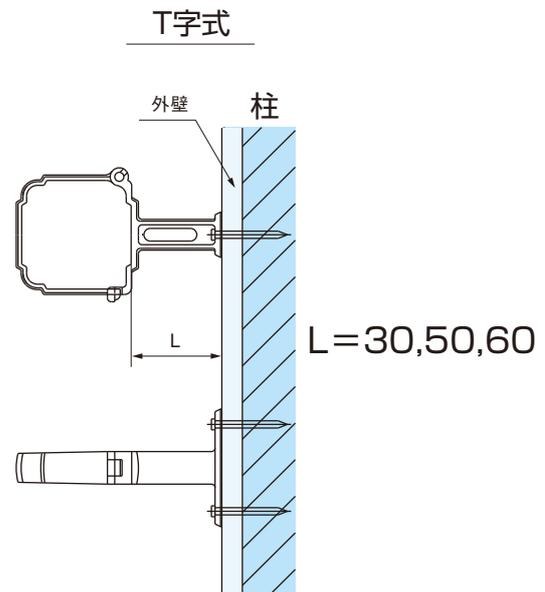
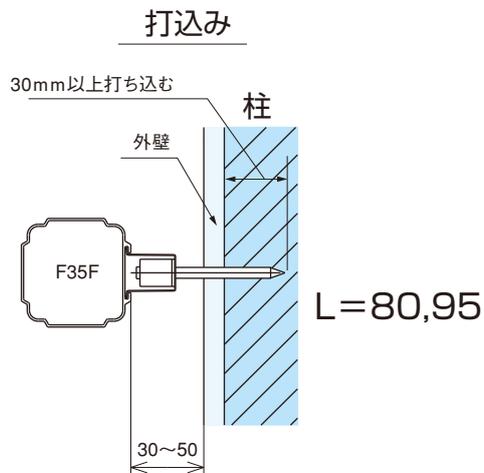
金具の出寸法（でんでん打込み代）

たてどいにつたわる雨水により、外壁の汚れを防止するため、壁からの間隔をあけて取り付けてください。

（でんでん）

たてどい金具の出寸法は30～50mmを標準としてください。
打込みの場合は釘を柱の中央に30mm以上打込んでください。

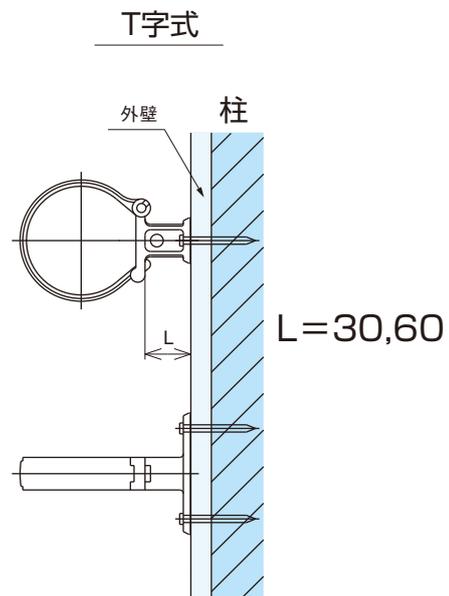
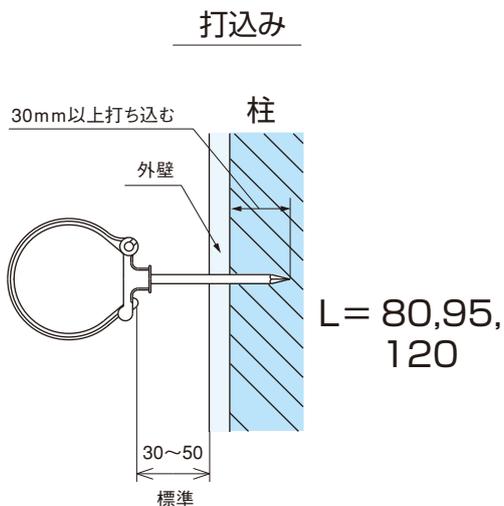
①角たてどいの場合



ご注意

窯業系サイディングの場合は、割れを防ぐ為に先穴をあけてください

②丸たてどいの場合

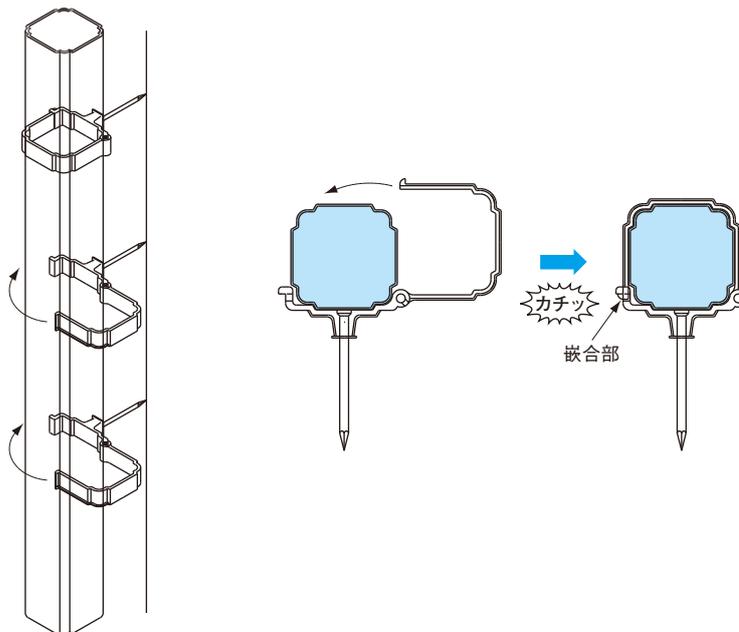


たてどい

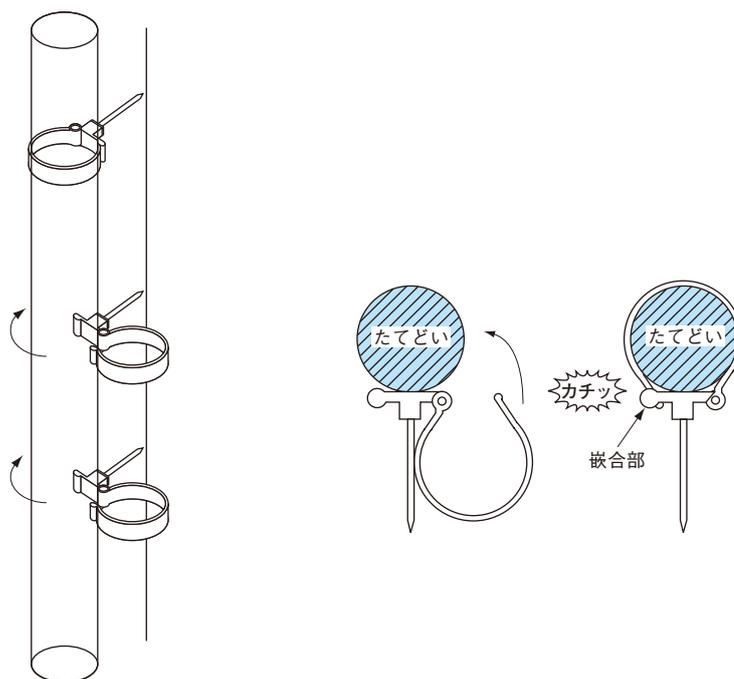
たてどいの取り付け

①角たてどいの場合

でんでんにたてどいを押し当てでんでんのバンドでたてどい外周をくるみ、でんでん嵌合部にバンドを押し込みます。



②丸たてどいの場合

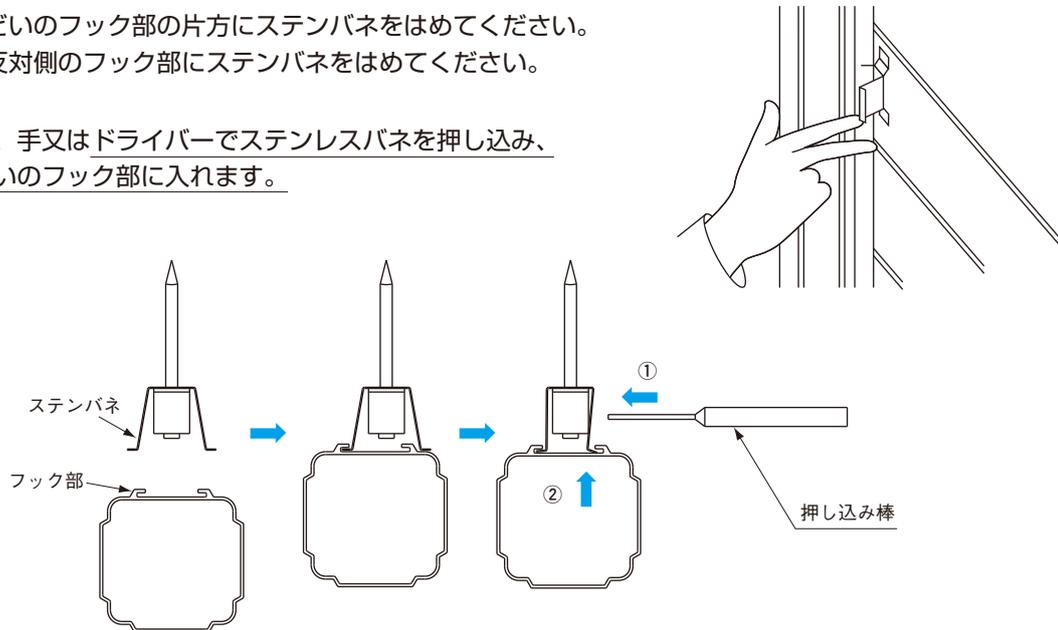


たてどいの取り付け

③ F 35金具の場合

- たてどいのフック部の片方にステンパネをはめてください。
- 次に反対側のフック部にステンパネをはめてください。

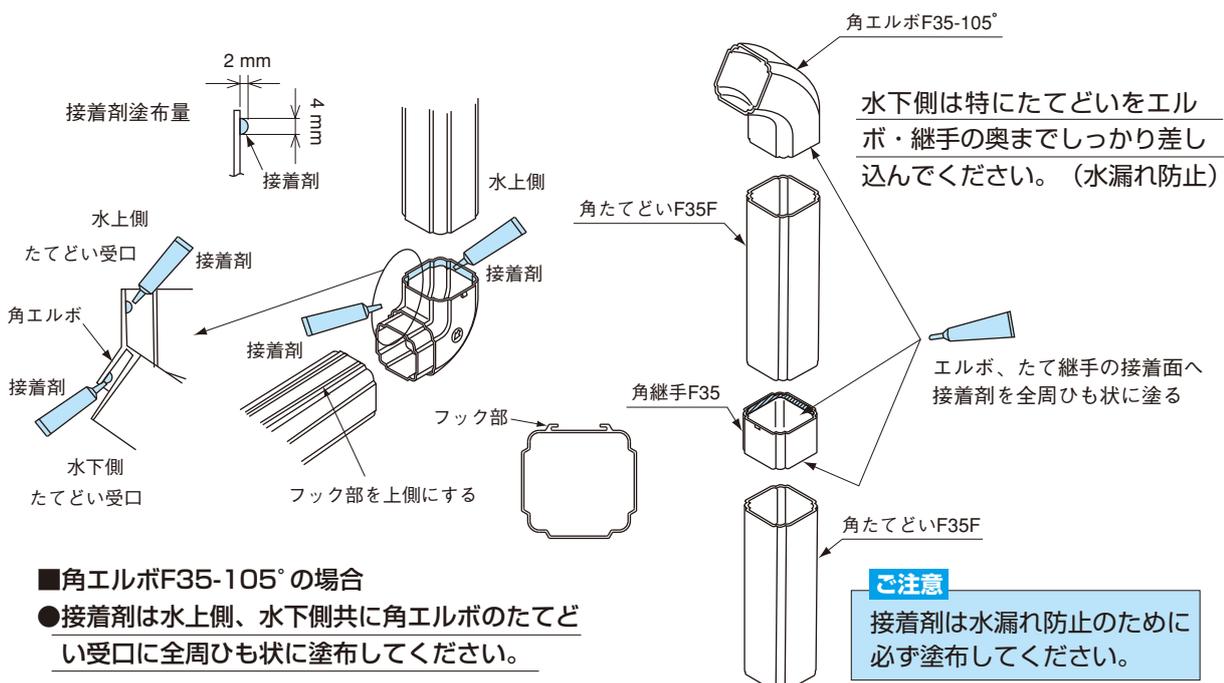
手順は、手又はドライバーでステンレスパネを押し込み、たてどいのフック部に入れます。



たてどい、エルボ、継手の接続

- エルボ、継手の接続には、水漏れ防止のため接着剤を必ず塗布してください。
- エルボ、継手の接続面に接着剤を全周ひも状に塗布してください。
- たてどいはエルボ、継手の奥までしっかり押し込んでください。

■角エルボ F35-105°



■角エルボF35-105°の場合

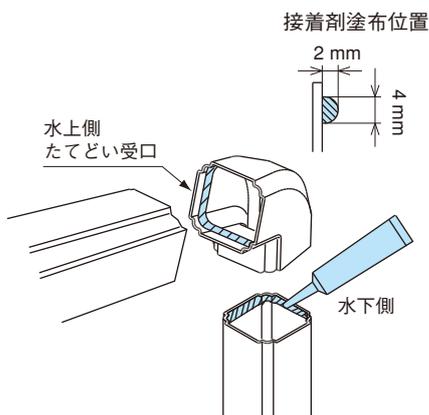
- 接着剤は水上側、水下側共に角エルボのたてどい受口に全周ひも状に塗布してください。

たてどい

エルボの接続

※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤(600ZT)をご使用ください。

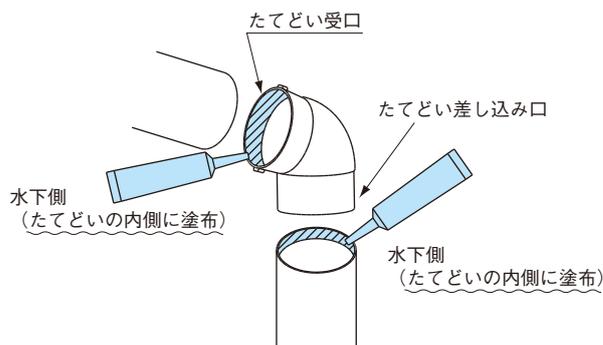
■角エルボK35-92°、K35-105°



■角エルボの場合K35-92°、K35-105°

- 接着剤は水上側はたてどい受口に、水下側は角たてどい内面に全周ひも状に塗布してください。

■T型エルボ



■T型エルボの場合

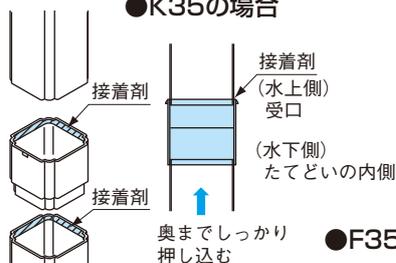
- 接着剤は水上側はたてどい受口、水下側はたてどい内側に塗布してください。

継手の接続

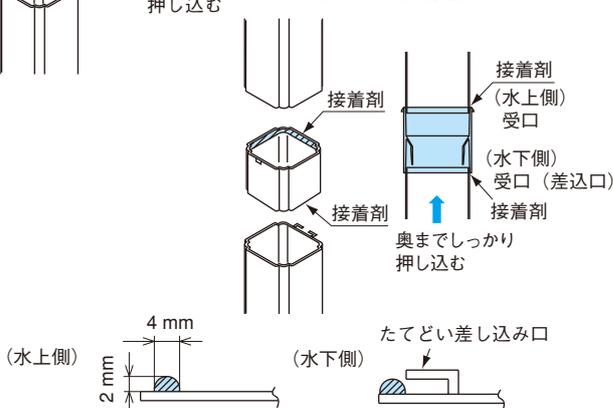
※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤(600ZT)をご使用ください。

■角継手

●K35の場合



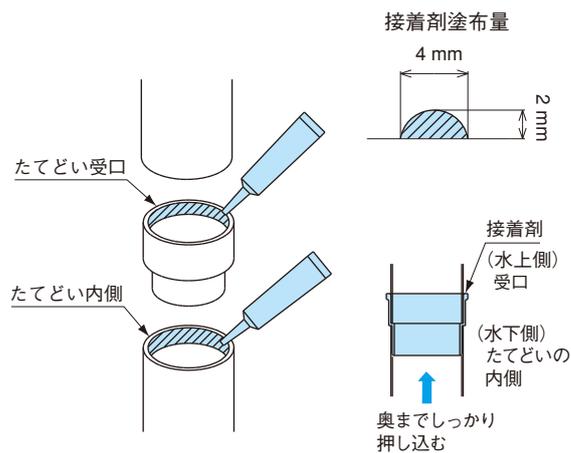
●F35の場合



■角継手の場合

- 接着剤は水上側はたてどい受口、水下側はたてどい差し込み口に塗布します。

■T型継手



■T型継手の場合

- 接着剤は水上側はたてどい受口、水下側はたてどい内側に塗布してください。

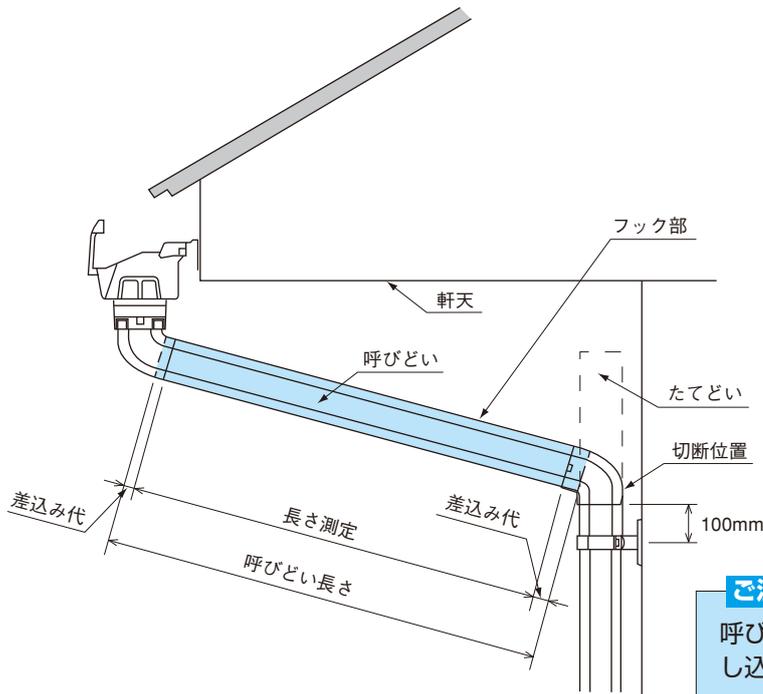
呼びどいの取り付け

※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤(600ZT)をご使用ください。

- 呼びどいの長さをはかり、たてどいの切断する位置を決めます。
- 呼びどいの長さはたてどい差し込み代も含みます。
- 呼びどい、たてどいを切断しエルボに差し込みます。

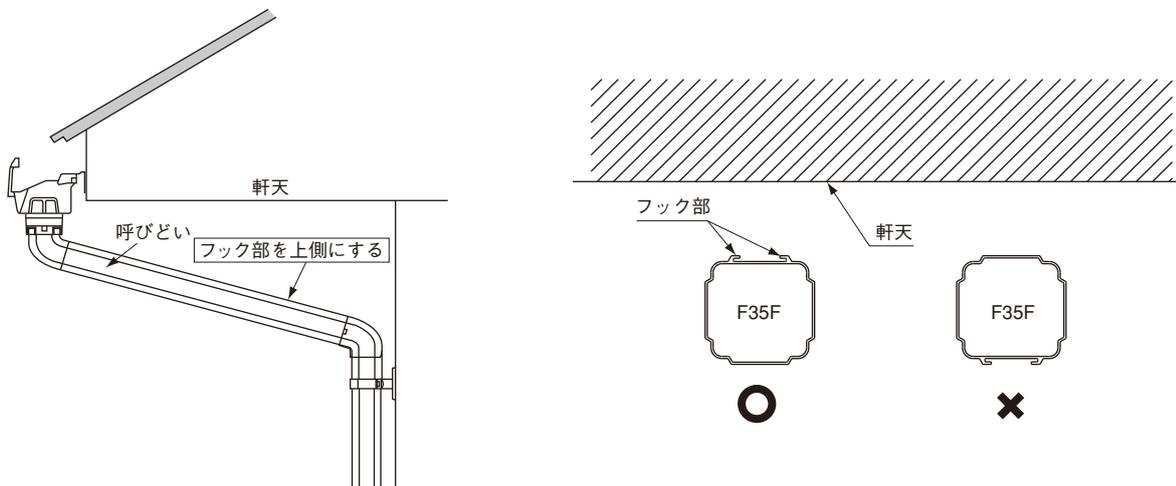
※接続時は水漏れ防止のため接着剤を必ず塗布してください。

※呼びどいの長さが短いと水漏れの原因になりますので、正しく長さを合せてください。



- 角たてどいF35Fを呼びどいに使用する場合は、フック部を上側にして施工してください。

※フック部は常に軒天側にくるよう施工してください。



たてどい

フリーエルボとははいどいエルボの接続

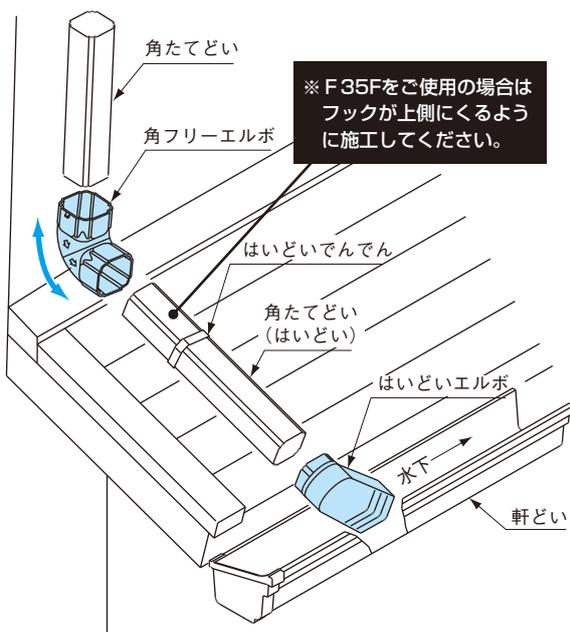
※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤(600ZT)をご使用ください。

■フリーエルボは、はいどい専用エルボです。

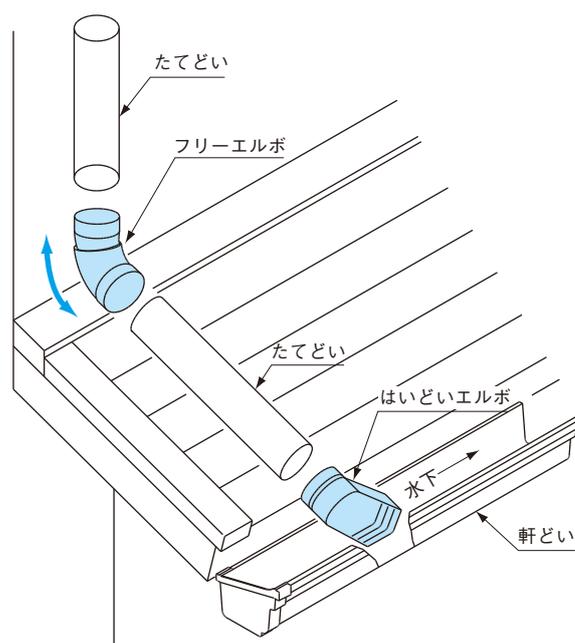
留意点

- フリーエルボは屋根の角度に合わせて、接着固定します。
- 矢印の向いた方向が(→)水下側となります。
- はいどいエルボは水下の方向に向けます。
- はいどいの長さが1m以上になる場合は、はいどいでんでんで固定してください。

〔角フリーエルボ K35〕



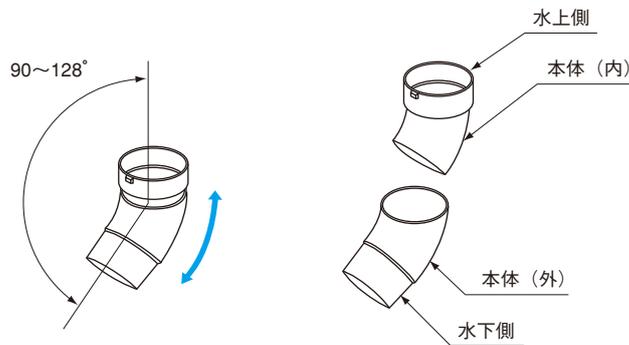
〔フリーエルボ 55F,60F・75F〕



フリーエルボの取り付け

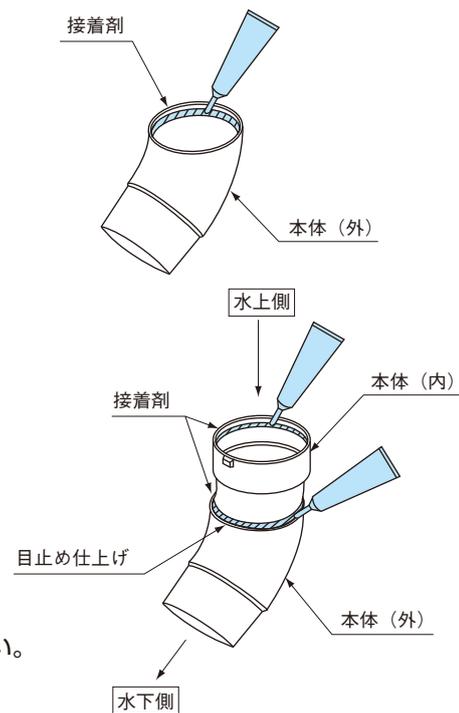
※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤（600ZT）をご使用ください。

●フリーエルボは90°～128°の間で角度が変わります。



施工手順

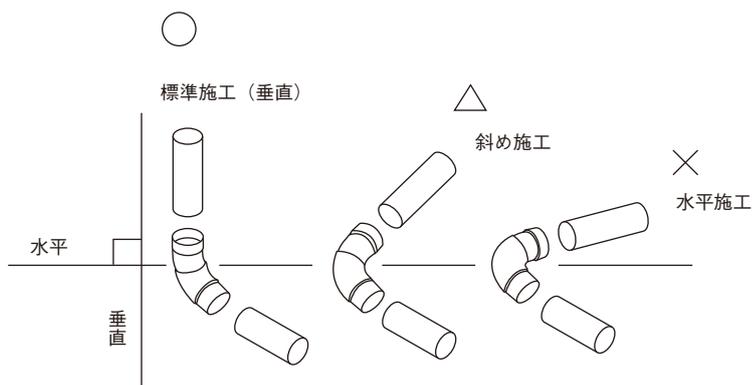
- ①屋根勾配を確認後、本体(外)の内側に接着剤を塗布してください。
- ②本体(内)を本体(外)に差し込み、角度を調整したあと、目止め仕上げをしてください。
(約20分程度動かさないでください)
- ③水上側はフリーエルボ側に接着剤を塗布し、たてどいを接続してください。
(たてどいはしっかり奥まで差し込んでください)
- ④水下側はたてどい側に接着剤を塗布し、フリーエルボを接続してください。
(たてどいはしっかり奥まで差し込んでください)



フリーエルボの使用基準

※斜め、及び水平方向での使用は避けてください。

斜め施工する場合は、接着剤を標準量より多めに塗布してください。



注意ポイント

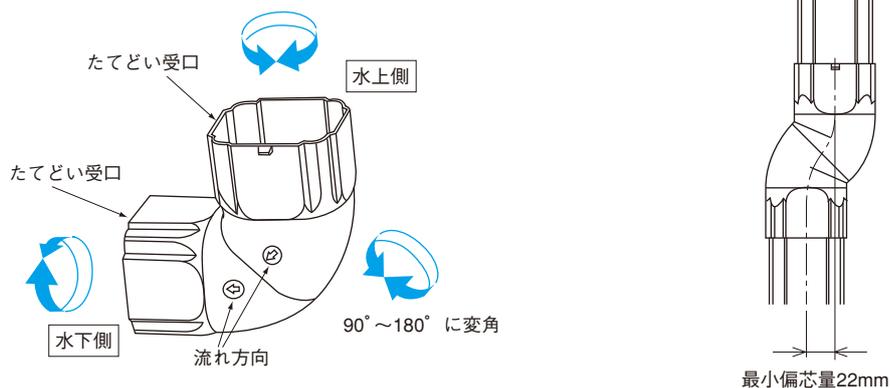
- ◎やむをえず斜め施工する場合は回転部、スライド部を必ず接着し、水漏れのない事を確認の上ご使用ください。
- ◎水平施工は水漏れの危険のあるため絶対におやめください。

たてどい

角フリーエルボの取り付け

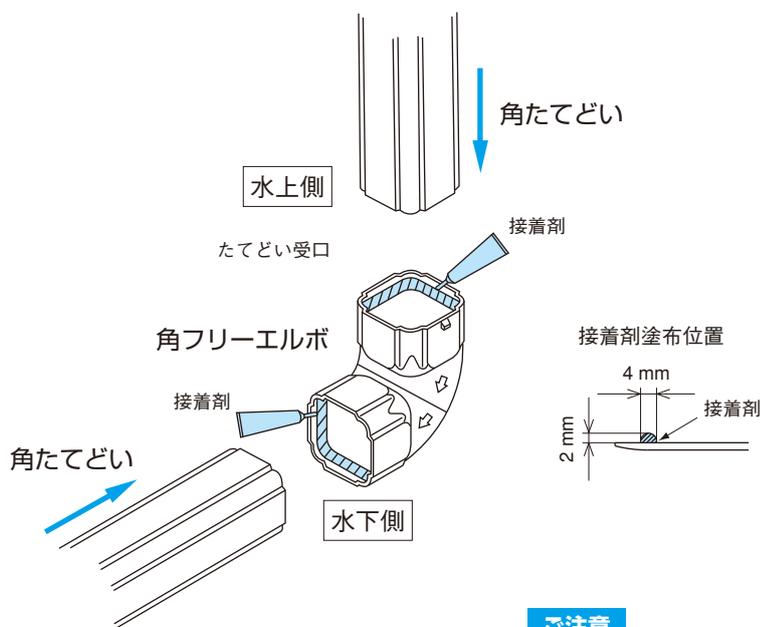
※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤（600ZT）をご使用ください。

- 水上側及び水下側のたてどい受口は回転し、本体部分は回転させることにより90°～180°の間で変角します。



施工手順

- 接着剤は水上側、水下側ともに角フリーエルボの内面に全集ひも状に塗布してください。
- F35をご使用の場合は、フックが壁側にくるように施工してください。



ご注意

回転部分にはパッキンが入っております。施工前に必要以上に回転させたり、無理な力を加えますと水漏れの原因となりますので、ご注意ください。

角回転エルボの取り付け

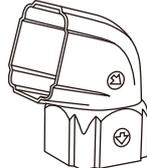
※接着剤は水もれ防止のため、弊社純正接着剤(600ZT)をご使用ください。

●接着剤は水上側はたてどい受口に水下側は角たてどい差し込み口に全周ひも状に塗布してください。

●K35-92°



●K35-105°



K35FとF35F兼用



K35F



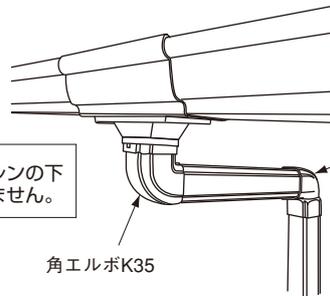
F35F

ご注意

・角回転エルボは水の流れ方向が決まっております。
製品の矢印を流れ方向に向けてお使いください。

ご注意

じょうご、ドレンの下には使用できません。



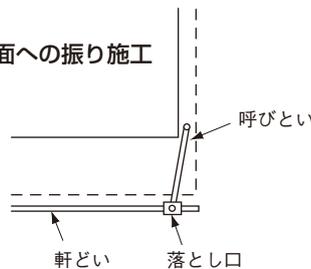
角回転エルボ使用位置

呼びどいの水下側に使用してください。

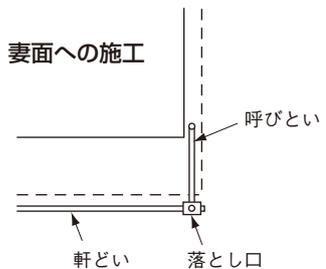
角エルボK35

●妻面への振り施工が必要な場合に使用します。

妻面への振り施工



妻面への施工

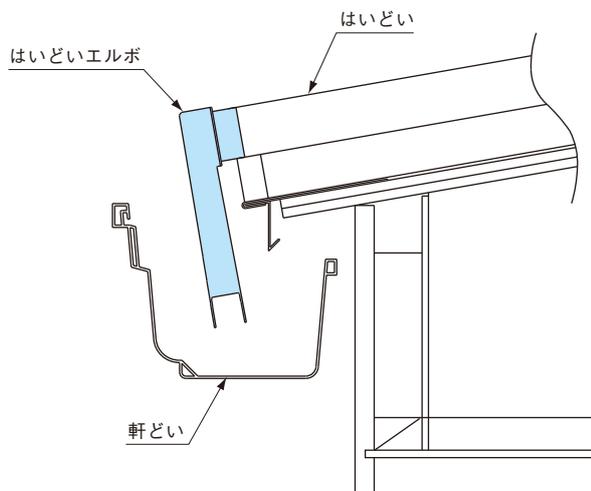


はいどいエルボの取り付け

①はいどい本体は軒どいの底部に合せ調整してください。

長すぎる場合は切断してください。

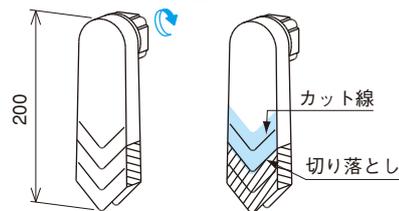
②はいどい本体の向きは水下側になる様セットしてください。



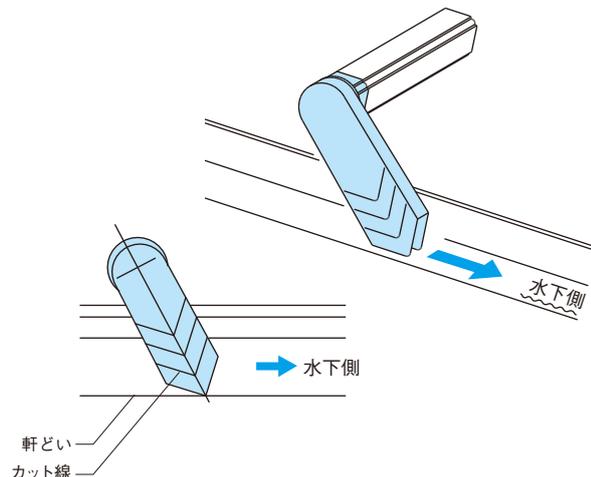
ご注意

●はいどいエルボは水下側に向けてセットしてください。

K35



●はいどいエルボは軒どいの底部に合せて切り落してください。

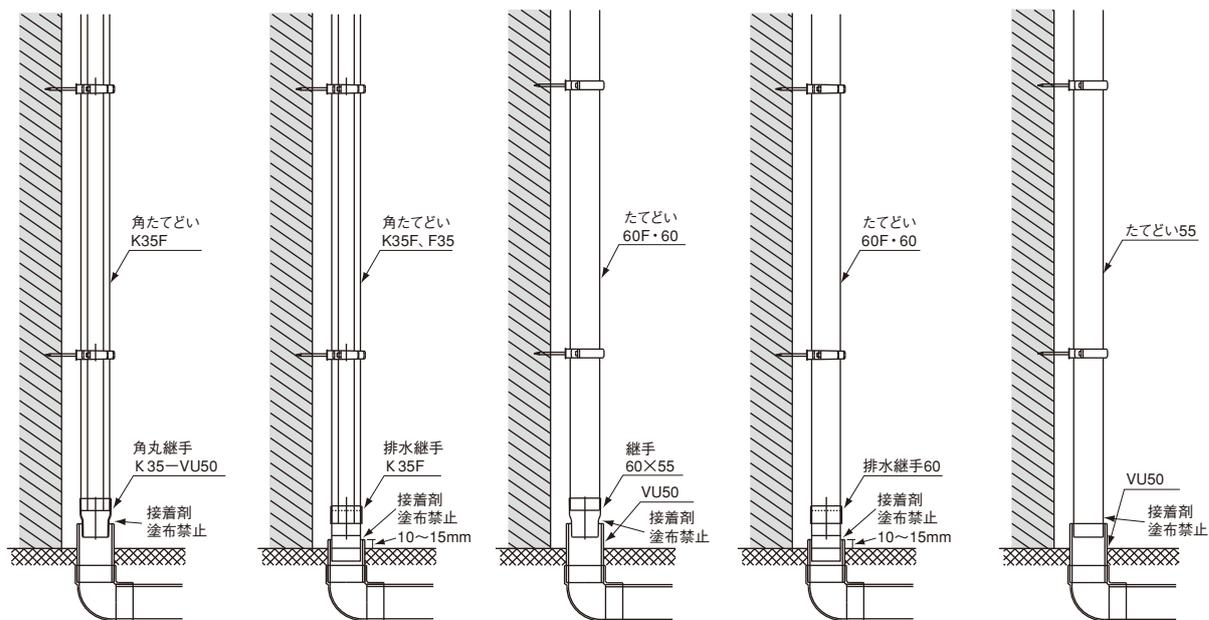


たてどい

たてどいと排水管の接続

図のような場合、たてどいの伸縮の吸収は末端で行なえますので遊びがあるようにしてください。

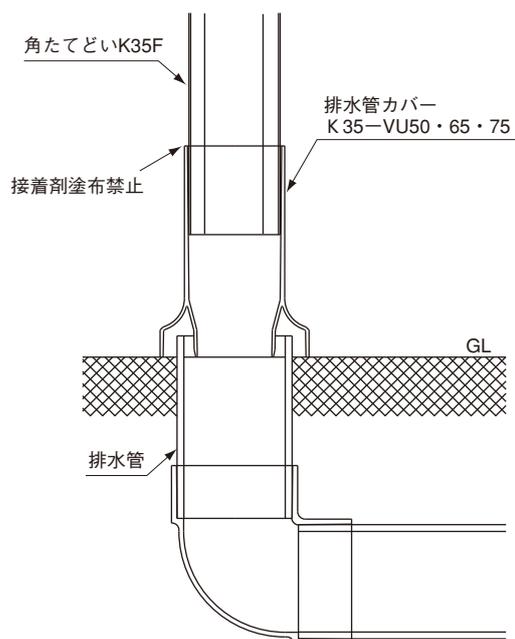
ご注意 接着剤の塗布、コンクリート等で埋め込まないでください。



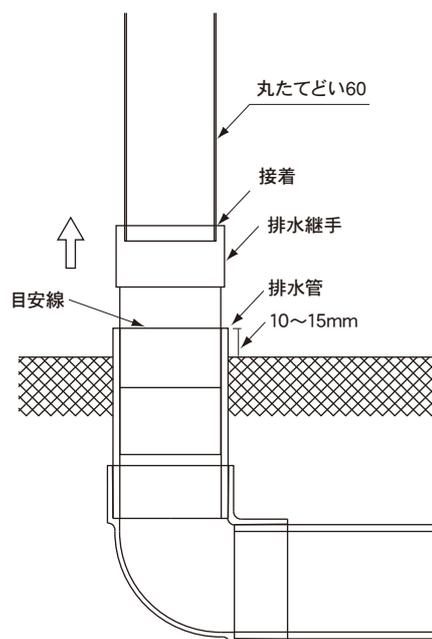
ご注意

たてどいと排水管の接着は絶対に行わないでください。接着固定した場合、温度差によりたてどいの伸縮がとれなくなり、じょうごや軒どいを突上げたり、引き下げたりする原因となります。

排水管カバーを使用の場合



排水継手を使用の場合

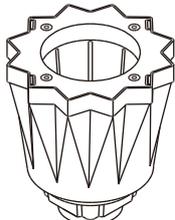


- 排水管カバーはたてどいの伸縮をスムーズに吸収します。排水管カバーのご使用をおすすめします。
- 排水管の掃除も排水管カバーを取り外し簡単に行なえます。

バルコニー関係の取り付け

■バルコニーマス・ポーチマス

- フタを軒天にビス止めしマスを取り付けます。



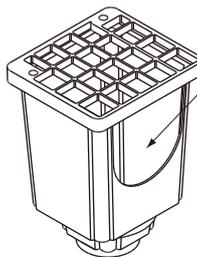
バルコニーマス



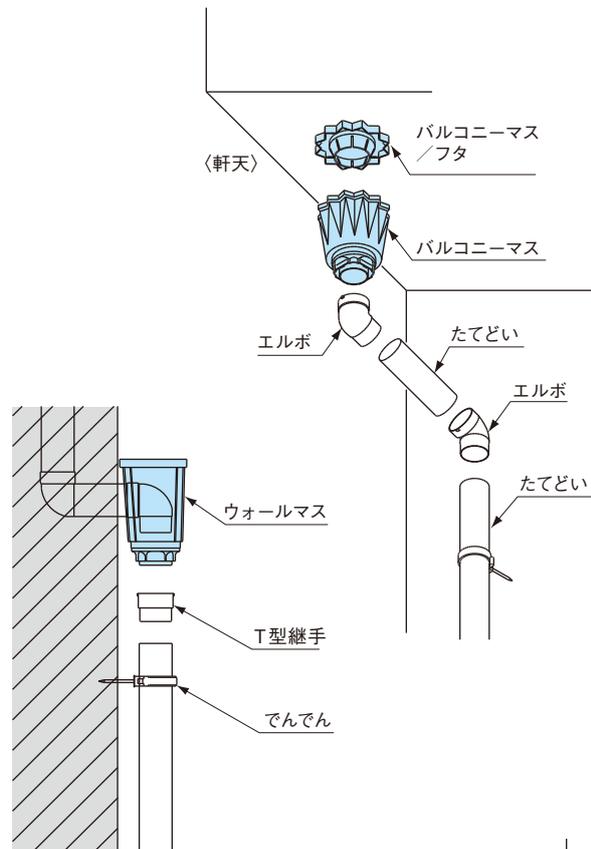
ポーチマス (中)

■ウォールマス

- 壁からの排水の時に使用します。
- たてどいの上をでんでんで固定します。

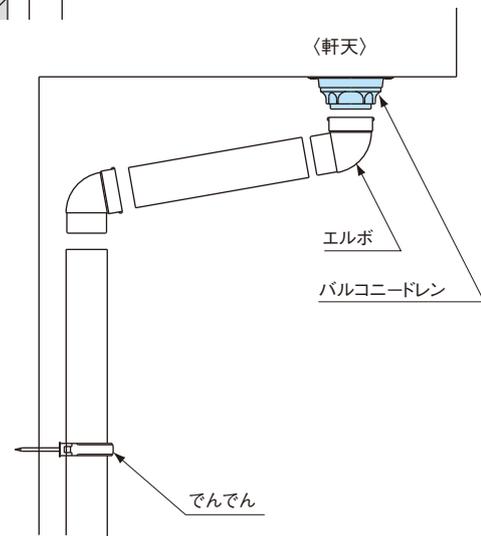
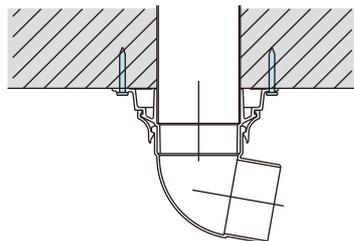
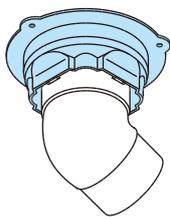


裏面穴
エルボ挿入



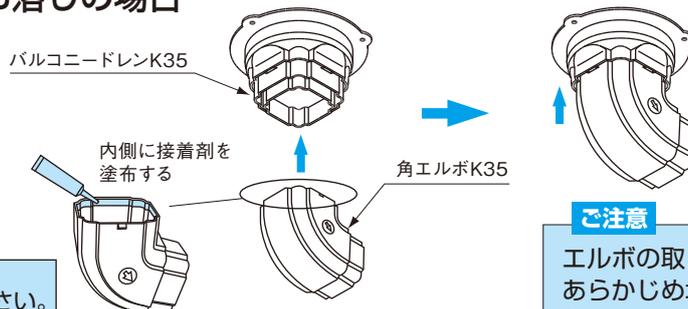
■バルコニードレン

- バルコニードレンのツメにエルボのポッチを差し込んでください。この作業はあらかじめ、地上で行ってください。
- エルボをセットしたバルコニーマスに軒天にビスで止めて取り付けます。



■バルコニードレンK35落しの場合

- 角エルボの内側に接着剤を塗布して差し込んでください。
- 接着剤は弊社純正接着剤 (600ZT) をご使用ください。



ご注意

必ず接着してください。

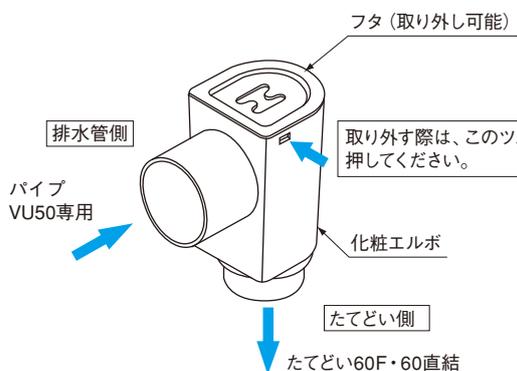
ご注意

エルボの取り付けはあらかじめ地上で行ってください。

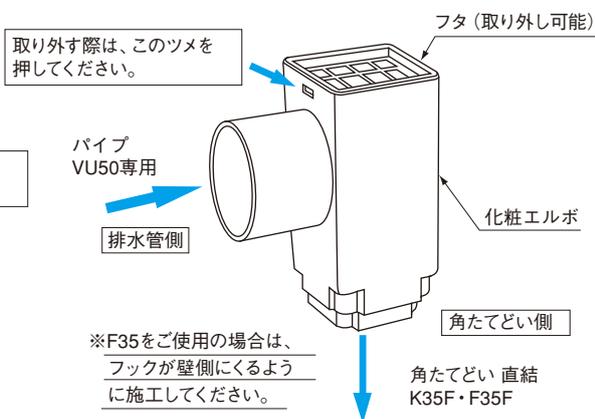
たてどい

化粧エルボ関係の取り付け

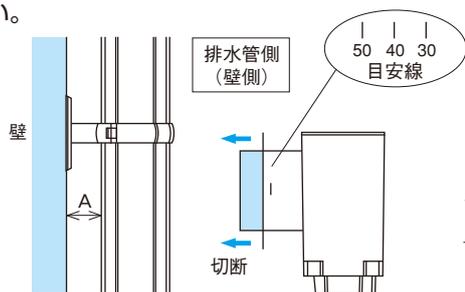
■化粧エルボ60



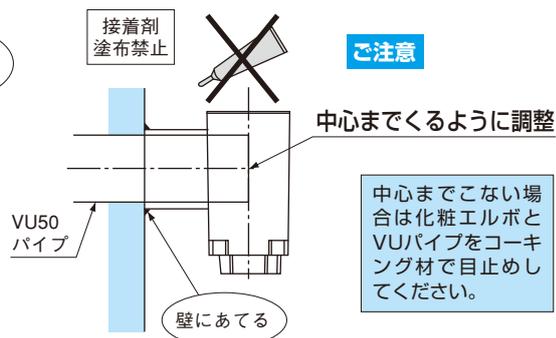
■化粧エルボK35



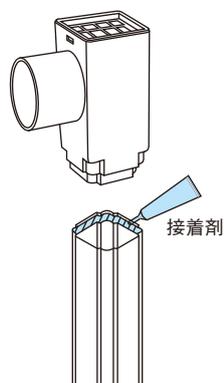
①たてどいと壁との隙間Aをはかり隙間が60mm以下の場合には、化粧エルボの目安線に沿って化粧エルボを切断してください。



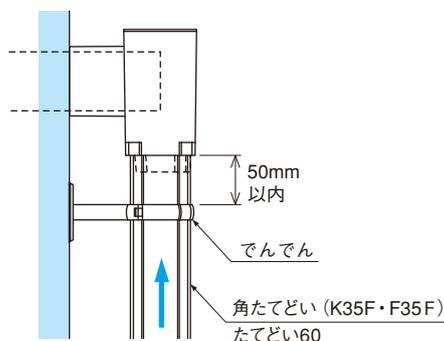
②化粧エルボを排水管に差し込みます。(接着はおこなわないこと)



③たてどい内面の全周にひも状に接着剤(600ZT)を塗布してください。



④たてどいをしっかりと奥まで差し込んでください。でんでんは、たてどいの上部に固定してください。(化粧エルボ50mm以内)



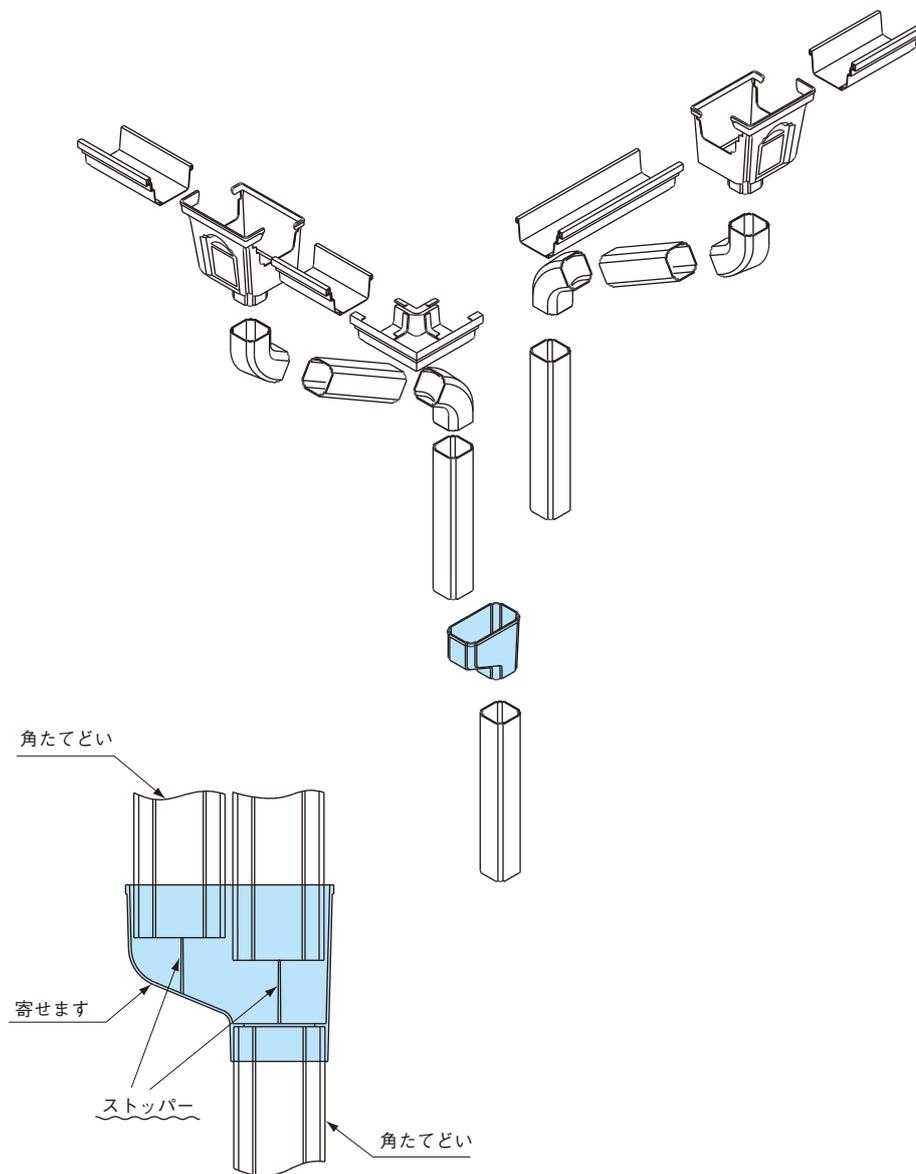
ご注意

- ・排水管は、化粧エルボの中心までくるように切断調整してください。
- ・中心までこない場合は、化粧エルボとVUパイプをコーキング材で目止めしてください。

寄せますの取り付け

●角たてどいはストッパーの位置で止めてください。

※それ以上入れると排水しない場合があります。



ご注意

たてどいをストッパー以上に差し込んだ場合、排水しない場合があります。